

陸上部全道大会出場

茨戸川

発行
石狩翔陽高校
生徒会執行部
2025年6月4日
第4号

5月19日から23日にかけて、円山競技場にて陸上部の高体連石狩支部大会が行われた。本校よりリレー・砲丸投げ・円盤投げの選手が全道大会出場を決めた。女子砲丸投げと円盤投げの田鎖さんはそれぞれ10m25と33m41で見事優勝、男子100m×4リレーでは決勝に進出しベストタイムは43秒.99、男子砲丸投げの近間さんは決勝進出でベストは11m00という好成績を収めた。



【リレー選手】

第一走者…2年7組 永井優磨

①高校から陸上を始めたので、ゼロからのスタートでした。なので、基礎から練習を始めました。周りからのアドバイスなどを活かして、力まないようにプレーするなど、基礎的な部分に力を入れて練習をしました。

②自分は本番に弱い性格なので、個人的には思うようにいかなかった部分があり、改めて自分の勝負弱さを実感しました。

③初めての全道大会なのでうれしかったです。また、先輩の引退が先延ばしにされて先輩と練習できるのがうれしかったです。

(追加質問…先輩が引退するのは、

やはり寂しいですか?) 寂しいです。

④本番に弱い性格なので、そこを克服できるように頑張りたいと思います。また、自分の全力のプレーをしたいです。

⑤陸上は走るのが中心ですが、(練習を)やった分だけ結果に出るので、誤魔化せないところが面白いと思います。

⑥初めての全道大会出場です。応援よろしくお願いします。

第二走者…3年3組 西木蓮

①(心がけていたことは)逆になりません。ただ、普通に練習を当たり前にやるだけ。

(追加質問…練習ではどんなことをしていましたか?) スタート練習や、バトン渡し、あとは走る。

②バトンミスで失格しないようにしました。緊張していて、まだ改善点があると思いました。

③うれしかったです。

④今回の大会で、バトン渡しの課題があったので全道大会までに、練習をしてタイムを少しでも縮めたいです。

⑤個人競技なので、言い訳ができない競技です。また、実力がそのまま結果に出るところが、面白いと思います。

⑥この全道大会が、人生最後の大会になるので、悔いのないように頑張ってきます。

【質問内容】①これまでの努力(練習で心がけていたこと) ②大会でのプレーを振り返って③全道大会出場が決まって最初に思ったこと④全道大会への意気込み⑤陸上の楽しさ、アピール⑥最後に一言

第三走者…2年2組 安藤光汰朗

①毎日練習することです。練習は週に6回あります。また、家に帰ってからストレッチをしたり、走りにつなげられるようなことをしました。

②満足はいかなかったです。まだ速くなりたいと思います。まだまだだと思っています。

③続けて先輩と部活ができるという喜びが大きかったです。

④先輩と走るのが、ラストになります。悔いのないようにしたいです。

⑤個人個人が戦う競技ですが、練習では、厳しさとともに、楽しく競い合っている感じがします。

⑥応援よろしくお願いします。

第四走者…2年4組 宮腰 颯翔

①練習の中で常に、何をやるのかを意識して練習を頑張っていました。

②思っていたよりも、いいプレーができたと思います。ただ、改善点もあったので全道大会までに改善したいと思っています。

③うれしいし、気持ちよかったです。

④先輩

と走れる最後の機会になります。



中学校からの付き合いがある先輩もいるので、悔いのないよう最後まで頑張ります。

⑤個人競技なので、タイムなどで明確な差が付きまします。その競い合いが楽しいと思います。

⑥応援お願いします

【リレー補欠・砲丸投げ】

2年2組 近間 真翔

大会で、補欠として出場するかは当日にならないとわからないので、ケアや心の準備をしっかりとしていました。

砲丸投げは陸上は中学から続けています。練習のときは、ただこなすだけに終わらず、1回1回の試技を集中して行い、自分の弱いところをなくすようにしていました。本番では勝負に弱いところがあるので、緊張せず普段通りにできるように心がけました。

【砲丸投げ・円盤投げ】

3年4組 田鎖彩乃

①練習を一生懸命にやることです。

②良かったけど、まだまだいけるなと思いました。

③みんなで、旭川に行けるのがうれしいと思いました。

④インターハイ決めます。

⑤記録が伸びていくところです。

⑥応援よろしくお願いします。